

新型コロナウイルス感染防止対策に伴う大会開催ガイドライン

京都府高体連バレー専門部

京都府高体連バレー専門部は、JVAバレー専門部ガイドライン（2020.0707更新版）に基づき、大会開催にあたり、以下の感染防止対策ガイドラインを策定します。

1 大会全般について

- ① 大会主催者は、本部に感染対策責任者を置く。
- ② 消毒等感染防止に必要な物品は、できるだけ本専門部で準備する。ただし、参加チームにおいても使用した用具・設備等の消毒ができるよう除菌シートや消毒液等を準備しておく。
- ③ 当面は「無観客試合」を原則とし、会場に入場できるのは、登録選手、顧問（監督）、コーチ、申請されたトレーナー等のチーム関係者及び大会役員のみとする。必ず、選手以外はID及びスタッフ章を着用すること。

2 大会参加募集時の対応（主催者が参加者に求める感染拡大防止措置）

- ① 以下の事項に該当する場合は、入場できないこととする。（大会当日に書面で確認する）
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
 - エ 未成年者について、参加同意書がない場合
- ② 必ず、マスクを持参すること。（会場到着時や着替え時等の競技を行っていない間、また会話をする時などにはマスクを着用すること）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施すること。
- ④ 他の参加者、主催スタッフ等との距離を確保すること。（できるだけ2m以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤ 大会開催中は大きな声での応援や会話をしないこと。メガホン・鳴り物を使用しての応援は、禁止する。
- ⑥ 公設体育館や会場校等が定める感染拡大防止のためのその他の措置についても遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑧ 観客については当面の間、無観客とする。（選手権大会決勝戦については、感染状況を鑑みて判断する。）

3 大会参加者の対策

- ① 体育館に来場する全ての者（大会役員、顧問、トレーナー等の指導者、生徒、※1保護者）は、予選リーグ戦の2週間前から「★健康チェックシート（提出用）および※2同意書」に必要事項を記入し、大会当日顧問に提出すること。※1保護者については、入場制限をする場合がある。※2同意書は、未成年者のみ。
- ② 顧問は大会当日、体育館に来場する全ての者について「★健康チェックシート（提出用）および※2同意書」と「◆チーム同行者検温確認表」を作成・提出すること。
- ③ 「手洗い・うがいの励行」、「咳エチケット」、「マスク持参必要時の着用（会場到着時や着替え等の競技を行っていない間や会話をする時など）」を徹底すること。
- ④ 熱中症予防にも十分に配慮すること。特にマスクを着用していると体温が上昇しやすくなり、また、水

分補給も不十分になりやすいため、こまめに水分を補給すること。なお、水分補給を行う際には、各個人で水筒・ペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回しをしないことを徹底する。

- ⑤ 飲食については、密にならないよう周囲の人と対面を避け、会話を控えめにする。
- ⑥ ミーティングを行う場合は、3つの密「密閉・密集・密接」に注意すること。
- ⑦ 各チームは、消毒する用具（消毒液・除菌シートなど）を持参し、競技中の試合球をこまめに除菌するよう努めること。また、ベンチ移動の際にベンチを消毒したり、更衣室使用後の周辺を消毒したりすること。

4 大会主催者が準備・配慮すべき事項

※予選リーグ戦の会場校にあたっているチームは、これを遵守し、運営してください。

- ① 試合用コート1日1面当たり4チームを超えない範囲での参加に限る。
- ② 換気の悪い密閉空間にならないよう、十分な換気を行う。窓を開けることができる環境でも、競技中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要があるが、セット間など定期的に開放して外気を取り入れる等、換気を行うこと。空調設備の活用や、必要に応じて扇風機を併用するなどの工夫を心がける。
- ③ 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒を行って交換しながら使用する。
- ④ 線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する。
- ⑤ 審判員の笛については、できるだけ電子ホイッスルを使用する。
- ⑥ 熱中症のリスクにも備えること。
- ⑦ 式典等、運営についてはできる限り、簡略化すること。
- ⑧ コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手に関して一礼することでこれに代えることとする。
- ⑨ トイレ・手洗いには石鹼（ポンプ式が望ましい）を用意する。
- ⑩ 更衣室については、換気に配慮する。また、他の参加者と密にならないよう広さにゆとりをもたせる。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加人数を制限する等の措置を講じる。

5 競技中の注意事項

- ① 試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避けること。
- ② ミーティングを行う場合は、3つの密「密閉・密集・密接」に注意すること。
- ③ 試合中のハイタッチは禁止。また、競技中、靴底を手でさわらないこと。ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控えること。
- ④ タオル・アイシングバッグなどの共有をしないこと。
- ⑤ 各試合会場周辺でアップをする際は、大きな声を出さないように心がけること。
- ⑥ ベンチでは離れて座ること。ウォームアップエリアでも密に気をつけて、私語は慎むこと。
- ⑦ その他、体育館や会場校が示す注意事項を遵守すること。

6 その他の留意事項

大会主催者は、万が一感染が発症した場合ない備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者加者より提出を求めた書面（上記①★②◆）について、保存期間（少なくとも1か月以上）を定めて保管する。

また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針については、保健所等の関係機関と連携して対応する。